

第2 審査報告

1 提案募集・選考経過

(1) 説明会

共働事業提案制度や募集内容、共働の意義等についての説明会を行った。

開催日時 平成25年4月19日(金) 17:00~18:00

会場 福岡市NPO・ボランティアセンター(あすみん)

注) 同日, 引き続き「あすみん」主催の提案サポートセミナー実施

(2) 共働事業提案の募集

募集期間

平成25年4月19日(金)~6月5日(水): 概要版受付

平成25年6月5日(水)~7月17日(水): 本提案受付

合同面談会

開催日時 平成25年6月18日(火) 10:00~16:30

平成25年6月20日(木) 10:00~16:30

会場 福岡市役所内会議室

25年度の提案募集に対して提案概要版15件が提案された。提案概要版を提出したNPOと、その提案内容に関連する市の担当課とが意見交換をする場を設け、NPOが解決を目指す課題や、市と共働して取り組みたい事業内容、またその課題に対して市が認識している市民ニーズや市が実施している事業などについて、意見交換が行われた。

NPOは必要に応じその後も市担当課と意見交換を行い、さらに提案内容について具体的に検討し、最終的に6件が正式な提案として提出された。

提案種類	提案概要提出	本提案提出	資格要件適合
テーマ・ジャンルを問わない自由提案	15事業	6事業	6事業
市が共働を希望する課題については課題提示なし	0事業	0事業	0事業
合計	15事業	6事業	6事業

(3) 第2回推進委員会(第1次審査)

第1次審査は資格要件適合の6事業の提案について書面審査を行い、3事業を選考した。

開催日時 平成25年8月26日(月) 13:30~15:30

会場 福岡市役所15階 第4特別会議室

提案種類	通過事業数
テーマ・ジャンルを問わない自由提案	3事業
市が共働を希望する課題(提示なし)	
合計	3事業

(4) 提案団体と市担当課の協議

第1次審査を通過した3事業の提案団体と市担当課による面談会が9月中旬から10月中旬にかけて実施され、企画内容の協議や、情報交換が行われた。

(5) 第3回審査委員会（公開プレゼンテーション・最終審査）

第1次審査を通過した3事業について、提案団体によるプレゼンテーションの後、引き続き最終審査を行い、2事業を選考した。

開催日時 平成25年10月28日（月）13:30～18:30
 会場 福岡市役所15階講堂

提案種類	通過事業数
テーマ・ジャンルを問わない自由提案	2事業
市が共働を希望する課題への提案	
合計	2事業

(6) 審査結果総括（最終）

区分	提案概要版提出	本提案提出	資格要件適合	第1次審査通過	採択事業数
自由提案	15事業	6事業	6事業	3事業	2事業
市の課題への提案					
合計	15事業	6事業	6事業	3事業	2事業

2 本提案応募状況（資格要件適合）

	事業名	提案団体名
テーマ・ジャンルを問わない自由提案	公共交通機関を利用した西戸崎への集客ビジネスの構築とコミュニティの活性化	(特活) 協働システム社会づくりネットワーク
	クリエイティブ留学コンシェルジュ事業	(特活) 博多音楽振興会
	「地域デザインの学校」プロジェクト	ドネルモ
	地域連携型「空き家等の利活用・流通」促進事業	(特活) わが家の119番
	大名地区まちづくり事業～「大名」からはじめる福岡の未来づくり～	KEYS FOR KEYプロジェクト 実行委員会 【合同提案団体】 大名校区自治協議会
	「市民がはじめる、ジョギング活性化事業(仮)」	NPO法人九州コミュニティ研究所

3 最終審査通過事業（概要と選定理由）

No. 1

事業名	「地域デザインの学校」プロジェクト		
提案団体	ドネルモ	事業予定額	2, 191千円
市担当課	市民局コミュニティ推進課		
事業目的及び概要	<p>(目的) 現在のライフスタイルに基づくニーズに合うように、地域活動をバリエーション豊かに展開できるノウハウを持つ担い手を養成する。</p> <p>(概要) 地域活動に既に従事している人々や地域活動へ意欲や関心を持つ人々が、同じ問題意識を共有する仲間としてつながりながら活動のノウハウを学べる場づくりを実施。また、受講生を対象に受講後の活動の場づくりをサポートするなど、アフターフォローを行う。</p>		
選定理由	<p>課題解決に対して明確なプログラムだと思います。</p> <p>地域活動に関心を持つ人の掘り起しについて、地道で時間を要し、難しいながらも具体的なアプローチ手法が検討されており、地域活動にとって最大の課題である担い手不足の解決に、有効な事業として評価できます。地域活動の担い手の拡がり、つながりの強化を図るためのモデル事業になることに期待がもてます。</p> <p>一方で、やや教科書的で、地域の課題解決に向けた、具体的なネットワークの構築に結びつけることができるかが気になります。</p> <p>受け入れる側の地域も様々であり、また、課題解消の成果も地域ごとに様々であると思われるため、自治協議会や自治会等と十分に連携するなど、今後の横の展開も併せて検討を進めていただくとともに、到達点がモデルケースの構築に止まらないよう、また、市の既存事業との相乗効果がえられるよう、工夫して取り組まれることを期待します。</p>		

No. 2

事業名	市民がはじめる、ジョギング活性化事業（仮）		
提案団体	NPO法人九州コミュニティ研究所	事業予定額	3, 000千円
市担当課	市民局スポーツ振興課		
事業目的及び概要	<p>(目的) 市民の意見やアイデアを活かしながら、ジョギング・ウォーキング・サイクリング等の「路面を使ったスポーツ」を推進する土壌づくりを図る。</p> <p>(概要) ジョギング等のコースが紹介されているマップを収集し、一元化された情報として広く市民に広報する。また、市民参加型のワークショップを実施し、新たなモデルコースを設定するなど、ウォーキングやジョギング等気軽に始められるスポーツへの興味・意欲の向上を図る。</p>		
選定理由	<p>市民に身近なテーマである興味深い取り組みですが、スポーツの視点だけの情報一元化ではない、より活きた情報の整理をしていただくとともに、スポーツを機にまちの安心・安全や、魅力づくりに結びつくような「街の情報発信」になるような取り組みを期待します。各地域の様々なルートや、新たなルートについても一元化する情報に逐次取り入れ、広く市民に発信されることも必要と思われます。</p> <p>また、市との共働の効果が見えにくい部分があります。</p> <p>NPOの強みである情報発信方法についても工夫していただき、事業の成果、到達点を明確にし、方向性をもった事業としてとり組んでいただくことを期待します。</p>		